

1. 熊本大学の理念・目的等

1.3 薬学部と薬学教育部の理念

1.3.1 薬学部と薬学教育部の理念

■薬学部の理念・目標

薬学部においては、薬剤師養成の6年制課程として「薬学科」を設置するとともに、従来の4年制学科の特色を活かした研究者養成に特化した「創薬・生命薬科学科」を設置している。

2学科併置の目的は、本学部のこれまでの実績に加え、医薬の融合という本学の特長を活かして、臨床・研究における指導的薬剤師と国際競争力のある創薬・生命薬科学の研究者を養成して、薬学部本来の教育目標を達成することにある。

各学科における目的として、薬学科(6年制)は、豊かな人間性、柔軟な社会性、医療における倫理観を育みながら、医療系薬学及び衛生・社会系薬学を中心とした応用的学問を修得し、高度化する医療において薬物治療の指導者となる資質の高い薬剤師、疾病の予防及び治療に貢献する臨床研究者として活躍する人材の育成、創薬・生命薬科学科(4年制)は、独創的な発想力、探究心、創薬マインドを育みながら、物理系薬学、化学系薬学、生物系薬学を中心とした基盤的学問を修得し、創薬科学や生命薬科学分野の先端的研究者、医薬品等の開発・生産・管理の場で先導的役割を担う研究者、技術者及び医薬品情報担当者等として活躍する人材の育成を目指している。

■薬学部のアドミッションポリシー

理念・目標に沿った教育を行い、将来の薬学を担う人材を育成するため、薬学部では次のような人を求めている。

【薬学科：6年制】

- ・生命科学に必須な物理、化学、生物などの学問的素養を有する人
- ・論理的な思考を通して、自ら見いだした問題点を解決できる人
- ・地域や全世界の人々との対話に必要な、情報科学や外国語能力の向上に意欲を有する人
- ・医療従事者として深い人間愛を涵養できる人

【創薬・生命薬科学科：4年制】

- ・生命科学に必須な物理、化学、生物などの学問的素養を有する人
- ・論理的な思考を通して、自ら見いだした問題点を解決できる人
- ・地域や全世界の人々との対話に必要な、情報科学や外国語能力の向上に意欲を有する人
- ・学部卒業後は大学院へ進学し、最先端の研究現場において研鑽を積む意欲にあふれる人

■薬学教育部の理念・目標

薬学教育部では、学部教育で培われた基礎薬科学および生命科学を基盤にして、各専門分野で自立し、かつ指導性を発揮できる、いわゆる高度な薬の専門家および生命科学者の育成を目指している。本教育部では、分子機能薬学専攻(分子機能薬学領域、創薬科学領域、薬物機能評価学領域)と生命薬科学専攻(生命・環境科学領域、医療薬学領域)を両輪として、医薬品創製の現場で主導的役割を果たすゲノム創薬と基盤的創薬の研究者・技術者の育成、先端的な生命科学分野および環境科学分野の研究者・技術者の育成、臨床の現場で薬の本質を深く理解した医療の担い手として、医薬品の適正使用に貢献できる高度な指導的臨床薬剤師の育成を目標としている。

■薬学教育部のアドミッションポリシー

理念・目標に沿った教育・研究を行い、各分野における基盤的および最先端の研究を通して薬学および生命科学の将来を担う高資質な人材を育成するため、本教育部では次のような学生を求めている。

- ・深い人間愛と国際性を涵養できる学生
- ・科学的探求心や知的好奇心が旺盛な学生
- ・多様な社会のニーズに即応できる、柔軟性豊かな学生
- ・自らの将来に対するビジョンと信念を有する学生
- ・問題提起能力および問題解決能力に優れる学生
- ・創薬・医療・健康・環境やその基礎科学に強い関心をもつ学生

さらに、本教育部は“地域社会に開かれた大学院”として、社会人に門戸を開き、薬剤師の資質向上を目指した生涯教育を実施していく。

